

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 22日

事業所名 放課後等デイサービスHIRAKU

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		年齢、活動量に差があっても、空間を仕切るなどの工夫をしながら、子どもたちがやりたいことができるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7		職員によって対応にばらつきがないよう、チーム支援を行い、ふり返りや療育方針の共有、職員間のフォローを合せている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		視覚的な構造化はしていないが、子どもたちの理解度合いに合わせて、子どもの意思表出を促し、肯定的で具体的な言葉かけ、言い換えで、自発的な言動ができるようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		日々の整理整頓、子どもたちが再現しやすい環境を作っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	日々の記録をとり、改善点などを職員間で共有している。改善案が出しやすい職場環境になるよう、業務に関するコミュニケーションをよくとっている。改善案については、利用者の最善の利益を第一に、職員の負担との兼ね合いも考慮している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		Googleフォームにてスムーズにアンケート評価ができるよう工夫している 懇談や送迎時のコミュニケーションを保護者とりながら、最終的には管理者判断で対応できるよう、報連相を行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		受けさせてもらえる研修には積極的に取り組み、業務の向上に務めている。 伝達研修は必要最低限にとどめ、全職員が同じ研修が受けられるよう、配信や録画研修が受講できるようにしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		発達段階のアセスメントシートを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		計画書にもとづく支援方法を職員間で共有している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		プログラム案を各職員が意見を出し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		1ヶ月単位の週間プログラムで、子どもたちにあったプログラムが立案され、好評だったプログラムは、また数ヶ月後にできるようにPDCAサイクルが回っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		支援前には職員間で確認するのはもちろんのこと、最新の共有事項は一覧表で確認できるようにしている。 パートさんへの周知が浸透しておらず、全員ができる状態とは言えない	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	各職員が支援した内容は、できるだけその日のうちに共有するようにしている。 毎朝ミーティングの時間をもち、前日の振り返りをし、全員が把握できるように、議事録に残している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		できるだけ誰が読んでも分かるよう簡潔に、しかし支援の内容が具体的にわかるように記録している。 長期休暇時は記録をする時間がとれず、個人のメモ書きがたまってしまっている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		機会があれば積極的に参加します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	わからない	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	わからない	現状は行っていませんが参加する機会があれば参加していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		研修は受けるようにしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	当事業所ですべきことかは分からない	現状交流する機会はなく、今後も設定する予定もありません。地域の公園での交流はあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	わからない	機会があれば参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に子どもの様子を伝えたり、おうちでの様子を聞いたり、コミュニケーションをとるようにしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	次年度開催予定(?) 個別でできている	特別なプログラムは行っていませんが、懇談時やお子様の様子等々で、言葉がけや対応の方法についてお伝えさせていただいております。小集団でのペアレント・トレーニングは検討しています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		小さなことでも保護者から相談を受けた際は、上席に確認し、対応するようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			今後開催を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		情報共有はもちろん、記録でも残して、全職員が把握できるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		ブログにて公開。毎週金曜日更新している ホームページ内のブログを毎週更新して、活動の様子をお伝えしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		鍵のある扉に保管	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		対象児童がおらず、現状は対応はしていませんが、必要があれば対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。